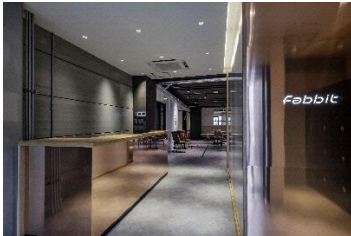


## 【令和2年度 第5回宗像ビジネス交流会「むな BIZ」】

令和2年度第5回宗像ビジネス交流会「むな BIZ」を、2020年に OPEN した「fabbit 宗像」にて2月18日（木）に開催しました。

なお、当日はソーシャルディスタンス確保のため、会場でのご参加は講演者ならび関係者のみとさせて頂き、その他参加希望者には会場の様子をオンライン配信致しました。

少しでも「むな BIZ」の様子をお伝え出来るよう、レポートをお届け致します。



会場：fabbit 宗像 1



会場：fabbit 宗像 2

「fabbit 宗像」・・・スタートアップ企業支援／コワーキングスペース等を備えた施設。宗像市、宗像市商工会、および fabbit にて「創業支援事業に関する連携協定」を締結し、宗像市発の地方創生実現を目指しています。

URL ( <https://fabbit.co.jp/facility/munakata/> )

## 【第5回テーマは「何から始める？SDGs」】

毎回「むな BIZ」では各回で流行のビジネステーマを設定し、講演やパネルディスカッション、交流会を実施しています。第5回「むな BIZ」は視聴者アンケートでも多くの要望を頂いていた「SDGs」をテーマに第4回と同様拡大版として開催致しました。現在では「SDGs」という言葉を聞いたことがない人の方が少ないのではないのでしょうか。しかし、大切な取り組みだという事は分かっていても具体的に何をすれば良いのか分からないという方もいらっしゃるかと思います。今回の特別講演では「2030 SDG カードゲーム」「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーターの横山泰治氏をお迎えし「SDGs」について分かりやすくご説明頂き、市内事業者事例講演では株式会社海千・常務取締役の井川春奈氏と株式会社くりんか・代表取締役の榎木真一氏のお二人に「SDGs」と事業の関連性を交えて講演頂きました。

「SDGs」・・・「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月に国連の持続可能な開発サミットで採択されました。

司会は fabbit の豊永恭香氏、モデレーターはボードウォーク・キャピタル株式会社の代表取締役社長・那珂通雅氏がオンラインにてご参加されました。

はじめに那珂氏による昨今の経済動向ワンポイントレクチャーが行われ、コロナ化において各国でワクチン接種が始まった事や今夏オリンピックが開催される日本がどのような対策を実施するのか世界が動向をチェックしている点に触れられました。また、日経平均株価が30年半ぶりに3万円の台に回復した事についてご説明頂きました。



司会・豊永氏



モデレーター・那珂氏

## <特別講演 横山 泰治 氏 (プロジェクト「From」代表)>

プロジェクト「From」代表の横山泰治氏は「SDGs」に関する多数の認定資格を取得され、SDGs 公認ファシリテーターとして全国で年間 150 回以上もの講座を開催されておられます。今回は『『つながっている世界』で何からは始める？SDGs』というタイトルの元、国連加盟国 193 か国が 2016 年～2030 年の 15 年間で達成する行動計画 (17 の大きな目標とそれらを達成するための具体的な 169 のターゲットで構成) について大変分かりやすく講演頂きました。

「1.貧困をなくそう」「2.飢餓をゼロに」「3.すべての人に健康と福祉を」など主に開発途上国への支援に関する目標からですが、日本も 6～7 人に 1 人が貧困だと言われており、緊急小口貸付金の申請件数は 2021 年 1 月 2 日時点で 140 万件を超え先進国である日本も他人事だとは言えない状況です。次に「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「8.働きがいも経済成長も」「10.人や国の不平等をなくそう」などについては、日本でもブラック企業やジェンダー問題など世界的に見ると不平等や格差がある国だとみなされており密接に関係する目標であります。最後に「13.気候変動に具体的な対策を」「14.海の豊かさを守ろう」「16.平和と公正をすべての人に」などは先進国・開発途上国関係なく、地球全体の目標となっています。これら「SDGs」の目標を踏まえた上で日本の地方視点で見っていくと、やはり人口減少・高齢化が課題となっており、「11.住み続けられるまちづくりを」を実現するためにどのような対策が行うかが重要だとおっしゃられました。また、その実践方法案として、今まで関係がなかった団体・企業が繋がる事や地域住民の小さな声を拾い続ける事で今まで目立っていなかった課題に手を付けるきっかけになるため、「ひと・まち・しごと」の魅力を高める努力が必要だと語られました。そして、宗像市を含めた地方について「どのような未来をつくりたいのか」「実現できる目途がたっているのか」「そのギャップを埋めるためにどのような行動が必要か」を自問して転換すること重要だと締め括られました。

SDGs 市民社会ネットワーク URL ( <https://www.sdgs-japan.net/> )



横山氏 登壇風景 1



横山氏 登壇風景 2

## <市内事業者事例講演① 井川 春奈 氏 (株式会社海千 常務取締役)>

井川氏は地元宗像で辛子明太子製造販売の経営に携わる傍ら、一般社団法人 Beyond SDGs Japan 認定・SDGs ビジネスマスターとして積極的に SDGs の活動をされています。テーマは「海千 KAISEN\_SDGs わたしたちはこうして始めました」。はじめに、「SDGs をしたら儲かるのか」「やらないといけぬのか」という質問を多くの経営者から受けたと話され、確かに新たなコスト発生等が起こりえるが、産官学連携が発生し好循環となったり、環境保全への取り組みが評価され消費者の共感を得られる可能性もあり、ビジネスチャンス・メリットの方が大きいと語られました。また、移転開業 10 周年の節目に「海千」の経営理念を見直し、安心・安全・美味しい商品づくりだけでなく、宗像地域への貢献・離島支援を持続的に行いながら、社会に必要とされる企業を目指して長期的な成長を実現すると掲げられ、具体的な離島支援活動として「たのしまんね宗像プロジェクト」で大島の甘夏みかんを使用した商品づくりや地島の天然わかめ加工作業体験会などを実施されています。その他にもクラウドファンディングや世界遺産周知活動応援などの事例をご紹介下さいました。

株式会社海千 URL ( <https://tarakomentaiko.com/> )

たのしまんね宗像 URL ( <https://munakata-project.com/tanoshimanne/> )



井川氏 登壇風景 1



井川氏 登壇風景 2

### <市内事業者事例講演② 榎木 真一 氏 (株式会社くりんか 代表取締役) >

榎木氏は「くりんかロード」が紡ぐ未来をテーマに自社の取り組みと SDGs の関係について講演いただきました。株式会社くりんかは後述の「くりんかロード」の設計工事・コンサルをされています。はじめに、クリンカアッシュ（石炭灰）という産業廃棄物で作られた舗装「くりんかロード」の透水力・保水力機能について動画を交えてご紹介頂きました。事業の柱は送電鉄塔の敷地舗装で「くりんかロード」の技術により、防草対策・排水対策・ヒートアイランド対策を実現しており、住環境の改善すなわち社会の持続的発展に繋がっています。また、実際の活用事例として、山間部での保水やハウステンボス・道の駅むなかた等観光地の景観舗装について挙げられ、石炭灰のリサイクルにもなっていると語られました。今後は宗像清掃工場で発生する熔融スラグ（廃棄物）を活用した「熔融スラグ版くりんかロード」の開発や、市内での地産地消・生活環境の改善など技術力で持続可能な循環型社会の実現を目指していくと結ばれました。

株式会社くりんか URL ( <http://kurinka.com/> )



榎木氏 登壇風景 1



榎木氏 登壇風景 2

### <パネルディスカッション>

パネルディスカッションはモデレーターの那珂氏、登壇頂いた横山氏、井川氏、榎木氏の4名にて行われました。横山氏は今まで儲からないという理由で「SDGs」に前向きではなかった企業が徐々に参入し始め新しい時代が来ていると話され、井川氏は具体的に何がどのように良いのか理解するために時間はかかるがビジネスとしては儲かると自身の体験を交えてお話し下さいました。また、榎木氏は今回のイベントのように企業が実際の事例紹介をする事で、営利目的だけでなく環境保全等の社会貢献に繋がっているという事が広まり個人の理解が深まると語られました。那珂氏は海外と比べると日本の「SDGs」に対する意識が低いと指摘し、横山氏は「SDGs=ボランティア」という風潮を変えるために発信することが重要であると答え、最後に地域事業が稼ぐためのキーワードが「SDGs」であるとし、宗像や地方から「SDGs」を目標に頑張りたいと結ばれました。



ディスカッション風景 1



ディスカッション風景 2

令和2年度第5回宗像ビジネス交流会「むなBIZ」は、日本だけでなく世界的にもホットな「SDGs」をテーマにお送り致しました。事例講演を通して、企業・場所でどんな「SDGs」の活動が行われているかを知る事が出来、漠然と地球に良いと思っていた程度の知識を深めることが出来ました。講演の中でもこれが広がる事によって個人・企業の意識が変わり、課題解決やビジネスチャンスが生まれる可能性があるとおっしゃられていました。今後、宗像だからこそ出来る「SDGs」から地方創生に繋がる事を期待したいと思います。

それでは、今後も「むなBIZ」もお楽しみに。

fabbit 宗像 むなBIZ レポーター